

電気屋さんが建設業に就職

理工学部電気電子工学科

内定先企業：鹿島建設株式会社

わたしは今年4月の始めの頃に鹿島建設から内定をもらいました。そんなわたしは、ほんの半年前までは大学院を志望していたのです。きっかけはある日のゼミの時間、突然鹿島建設のリクルーターがやってきて、いかに私たち電気の生徒が建設業にとってどれだけ大切な存在かを熱心に話しをし、「一つの空っぽのビルに命を吹き込むのは君たちなんだ」と言ってくれたときの心を打たれた感覚はいまでも忘れられません。その一言によってすっかり建設業に魅了された私はすぐにエントリーしました。志望したのはもちろんその一社のみ、その時にはまさか就活がこんなに早く終わるとは夢にも思いませんでした。

志望動機には「現れては淘汰されていく電気製品を作るより、100年立ち続けるビルを作りたい！」と言うキャッチフレーズで面接官の心をガッチリ掴み、海外発展を目指す会社の展望をいち早く見つけ、率先して海外勤務を希望し、見事内定をいただきました。

いま社会で求められているのは、「勉強できる社員」よりも「発想力豊かで行動力のある社員」です。いくら勉強できようが仕事ができなければ意味がありません。あなたが社会人になれる十分な資格を持っていることを面接官に見せつけなければなりません。あなたの得意な事でもいいし、今まで成した業績など、とにかく自分がいかにこれらの特長を活かして会社に貢献できるのかを面接官に証明するのが面接において最も大事なことで私は認識しております。

堂々と、自分の事を十二分にアピールして、内定を勝ちとってください！！